「聞く会」

2017.4.24 愛媛新聞

今治 獣医学部 市が誘致過程説明

市民団体シンポ 市議は不参加

国家戦略特区を活用した今治市の大学獣医学部誘致を調査する市民団体「今治の獣医学部開校について市と市議に話を聞く会」実行委員会主催のシンポジウムが23日、市内であり、市民ら約60人が市担当者に学部の概要や施設の安全性を質問した。

解除条件付きの用地無償譲渡や整備費負担を含めた市の大学誘致策について、市民が是非を判断する機会を設けようと開催。3月29日に市議会事務局を通して市議の出席を要望したが、参加はなかった。

シンポで市企画課職員が市ホームページなどで公表している誘致過程や支援策を説明。整備費の債務負担行為（県と市の合計限度額96億円）で市の上限額64億円を単年度交付しても、自治体の財政余力を示す将来負担比率は40・8％（全国類似自治体平均は60・8％）で「見通しを立てた支援策」として理解を求めた。

同課職員が市民の疑問にも答え、新学部の総事業費約192億円の詳細が公表されないことについて「補助金の算定根拠は建設費。（設置事業者の加計学園が）文部科学省に提出した申請書類などは所持しているが、国の審議会のメンバーにも秘密保持が課されている状況」と回答。病原体の外部流出や実験動物の環境への影響には「関係省庁の取り決めや法令に適切に対応した整備がなされる。市も万全の対策を研究していく」とした。

学部誘致に向けた土地無償譲渡に理解を示す参加者も「（首相と事業者の理事長の関係性で）急に決まった印象では、地域に受け入れられない」と危惧。不参加だった市議に「市民軽視だ」「（参加がなければ）市の説明以上の情報開示につながらない」などと支援策を決定した議会側に説明を求める意見もあった。（山岡雄大）

今治市の大学獣医学部誘致について市職員が市民の

2/3 前川喜平氏講演会

6.5 復命書
告訴の記者会見

住民監査請求　10/21 説明会
10/30 提出　10/30 記者会見